

第8号様式（第7条関係）

平成31年3月31日

久留米市議会議長様

久留米市城南町15番地3

会派名 緑水会議員団

代表者名 田中 多門



政務活動費事業実績報告書

久留米市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 事業の完了年月日 平成31年3月31日（30年度分）

2 事業実績の概要

- ・各種研修等への参加
- ・全国議会議長会研究フォーラム in 宇都宮
- ・先進地視察
 - ・小松市
 - ・金沢市
 - ・諫訪市
 - ・宇都宮市
 - ・宮崎市
 - ・大田区
 - ・川崎市



視察報告書

平成 30 年 11 月 22 日

緑水会議員団 代表者 田中多門 様

緑水会議員団

佐 藤 晶



政務活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

実施年月日	平成 30 年 11 月 8 日～9 日
視察市	長野県諏訪市
参加議員	佐藤 晶二
視察項目	YouTube による議会録画の配信について 議会基本条例について
視察目的	久留米市は CATV による本会議の LIVE 中継、HP による録画の配信を実施。安価で特別なツールもなく閲覧できる You Tube による中継を本議会でもできないかを検討する。 諏訪市議会は、議会基本条例を決議したばかり。本市は、その見直しを特別委員会で協議しているが、諏訪市議会での討議の様子等を、諏訪市議会議長に直接伺うもの。本市の議会基本条例の見直しの参考にする。
当該視察市を選定した理由	諏訪市では、YouTube による本会議の動画配信を実施している。また、諏訪市は議会基本条例を施行したばかりで、諏訪市議会議長の生の話が直接聞くことができるため。諏訪市議会に依頼したところ、金子議長に快く引き受けていただいた。
説明者	諏訪市議会議長 金子 喜彦 諏訪市議会事務局長 前澤 由美子 諏訪市長 金子 ゆかり
視察の成果と久留米市へ期待される効果	YouTube による議会録画の配信について 諏訪市は、平成 29 年 10 月 2 日に、3 月、6 月、9 月の本会議の代表・一般質問を公開し、それ以降は本会議終了後 10 日前後に公開している。有線 TV で中継したもの情報を推進係で、加工した後上げているため費用等は特にかかっていない。久留米市では、本会議の CATV による LIVE 中継、業者委託によるインターネットでの録画中継を実施している。今後、議会活動の見える化を進めるために、委員会の中継も考えていく必要がある。最小の費用で、効果のある手法を選択したい。

議会基本条例について

現在、久留米市では議会基本条例の見直し手続きについて協議している。その中で、協議の場をどうするのかを協議中である。諏訪市では、基本条例制定にあたり 33 回の会議を重ね、また、住民との意見交換会やパブリックコメントを実施され、制定過程の透明化や住民の意見も十分に参考にされたようだ。また、基本条例の解説文もオープンにされ、住民が条例を理解できるよう親切な対応をされている。

久留米市議会は、現在、「開かれた議会」へ向け、議会制度調査特別委員会が中心となり、議会基本条例の見直し手続きや、政務活動費の情報公開、議会だよりの充実（会派別議案賛否の掲載）を図っているところである。今後は、これをゴールとすることなく、さらに「開かれた議会」へ向けて取り組むことで、絶えず市民の意見を議会（市政）に反映しながら、議会活動を活性化することが住民福祉の向上につながっていくと考えている。そのためには、基本条例に謳われている市民参加や市民との連携（基本条例第 6 条）を深めていく必要がある。地域のまちづくりと議会をつなぐ取り組みを考えていきたい。

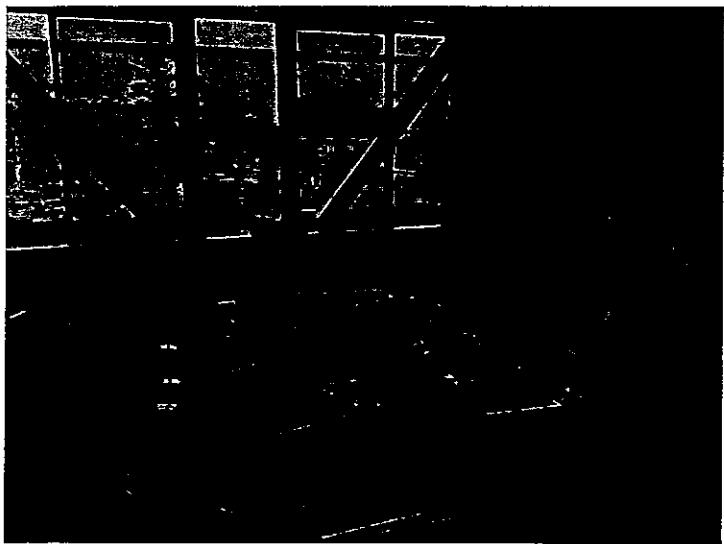
その他

議会広報モニター制度について

諏訪市議会は、議会だよりの内容等の充実を図るため、平成 29 年に「諏訪市議会だよりモニター設置要綱」を制定、5 月時の諏訪市議会だよりからモニターと協議を開始。年に 2 回会議し、年 4 回発行する議会だよりへアンケートの回答している。モニターへの報酬や費用弁償はないとのこと。公募や議員からの依頼によってモニターを決定している。

諏訪市議会先例集の作成

諏訪市議会では、過去の議会や委員会で扱った事件を全て記録に残し、先例集として議員に配布している。修正は、都度議会運営委員会や全員協議会で確認して修正している。久留米市でも、過去の先例や申し合わせを整理しておくと議会運営にも役立つと感じた。



視察報告書

平成 31 年 3 月 8 日

会派名 緑水会議員団
代表者 田中 多門 殿

会派名 緑水会議員団
報告者 森崎巨樹



政務活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

実施年月日	平成 30 年 11 月 13 日
視察地	栃木県宇都宮市
参加議員名	栗原伸夫、森崎巨樹 計 2 名
視察項目	餃子のまち宇都宮について
視察の目的	宇都宮餃子のブランディング、プロモーションについて調査研究を行う為
当該視察地を選定した理由	全国的にも有名な B 級グルメであり、本市と類似点があり、先進的である為
説明者	協同組合宇都宮餃子会理事兼事務局長 ■ 様
説明内容	宇都宮餃子の歴史的背景から始まり、ブランディング策とその経過について説明を受けた。またその中において、行政とのかかわりと餃子会の取組について民間の力を活用した手法についても説明を受けた。
視察の成果と久留米市への期待される効果	行政でできる事には限りがあるが、本市としても B 級グルメの振興による地域活性化や観光資源としての醸成について参考になる調査ができた。今後、民間団体などを含めた支援が必要であると課題認識を持つことができた。

視察報告書

平成 31 年 3 月 8 日

会派名 緑水会議員団
代表者 田中 多門 殿

会派名 緑水会議員団
報告者 森崎巨樹



政務活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

実施年月日	平成 30 年 10 月 23 日～25 日
視察地	石川県小松市、石川県金沢市
参加議員名	田中多門、栗原伸夫、塙本篤行、原口和人、森崎巨樹 計 5 名
視察項目	【小松市】木場鴻カヌー競技場における外国人選手の受け入れについて 【金沢市】伝統工芸の後継者育成、商品販売について
視察の目的	【小松市】2020 オリンピック事前キャンプ受入の施設整備、課題確認の為 【金沢市】伝統工芸の後継者対策と事業者支援及び販路拡大調査研究の為
当該視察地を選定した理由	【小松市】JOC 認定コースであり国際大会、海外選手団のキャンプ受入実績が 国内トップクラスである為 【金沢市】伝統工芸品に対する後継者育成をはじめ先進的な施策を行っており、 全国各議会で伝統工芸に対する連盟の発起人である為
説明者	【小松市】にぎわい交流部スポーツ育成課課長池上様 他 【金沢市】経済局営業戦略部クラフト政策推進課大窪様 他
説明内容	【小松市】現地視察を行い、カヌー競技に必要な設備について費用、課題などについて説明を受ける。また、視察当日カナダパラカヌー代表のキャンプが実施されており、パラ競技に関する対応、設備等についても説明を受ける。 【金沢市】技術保存、後継者育成について説明を受ける。希少伝統産業を指定し後継者育成を行い、他の伝統工芸品後継者育成の為に研修者、事業者への奨励金を行っている旨の説明を受け、販路拡大や新製品開発についても説明を受ける。説明の後、希少伝統工芸品の展示販売場の視察も行う。
視察の成果と久留米市への期待される効果	【小松市】事前キャンプカヌー競技誘致は、市が相当に取り組まないと成果に繋がらないことを痛感。カヌーコースの整備、付属機器の整備、トレーニング施設の整備、宿泊施設の対応など課題が山積していることを確認したためその対応策を今後検討して行く必要がある。 【金沢市】本市と共に伝統工芸産業に対して協力していくことを確認できた。しかしながら、金沢市の知名度と歴史、伝統産業に対する多角的な支援を行っている点で、久留米市は後れを取っていると感じた。今後はその課題に対して対応して行く必要があることを確認できた。

視察報告書

平成30年12月17日

会派名 緑水会議員団

代表者 田中 多門 様

会派名 緑水会議員団

報告者 原口 和人

原口
和人

政務活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

実施年月日	平成30年11月19日
視察地	宮崎県宮崎市 宮崎県宅地建物業協会本部
参加議員名	原口 和人
視察項目	市営住宅の指定管理について
視察の目的	宮崎市での現状と課題の把握のため
当該視察地を選定した理由	宮崎市が先進地であるため
説明者	宮崎県宅地建物協会 理事長
	<p>市営住宅の指定管理を実施しています宮崎市に視察に行き、9項目について調査をしてまいりました。</p> <p>1) 指定管理に移行するまでの経済について</p> <p>平成21年3月議会にて市営住宅の指定管理導入にあたり審議した結果、費用対効果が認められず否決されたとの事。その後市長により再度検討指示が出て、住宅課と県宅建協会及び市宅建組合とで勉強会が実施され、平成27年7月1日に指定管理の公募が開始され宮崎市住宅管理センターにて、指定管理業者が決定したとの事です。</p> <p>2) 具体的メリットについて</p> <p>メリットは大まかに3点です。</p> <p>1. 民間ならではの柔軟かつ機動力のある管理を行うことにより、入居者へのサービス向上</p> <p>2. 家賃等徴収率アップ</p> <p>3. 市の管理運営に係る経費の縮減</p> <p>3) 指定管理の問題点と対策について</p> <p>問題点1. 家賃等の徴収・修繕対応の問題</p> <p>問題点2. 収入申告、各種の申請・届出などの法令要綱に基づく業務の問題</p>

<p>説明内容</p>	<p>問題点3. 自治会や入居者対応業務の問題</p> <p>4) 市のバックアップ体制の問題</p> <p>5) 市に対する要望について 短期的人事異動は、施設管理職員の管理運営に対する意識の低下を招き、政策へのフィードバックができにくくなるのでひかえて欲しい</p> <p>6) 発足時の人材確保について 宮崎市OB職員2名、市の嘱託職員2名、県住指定管理経験者3名、新規採用3名の計10名にてスタート</p> <p>7) 業務内容について 管理期間 平成28年～32年（5ヶ年契約） 管理団地数 63団地379棟 管理戸数 5,488戸、駐車区画数 6,469区画 委託契約金額 139,000千円/年 維持保全費 293,684千円/年 業務内容 ①入居者募集 ②入退の手続き ③家賃等の回収 ④建物・設備等の維持管理 ⑤その他（収入申告業務、各種申請書類受付業務）</p> <p>8) 収益について 収入433,003,742円 経常経費430,017,137円 市の振替2,000,000円 一般正味財産986,605円</p> <p>9) 市の住宅課の経費について 平成27年の経費（建物の償還額は別途）は、約5億6千万円程度で約1億3千万円の経費縮減</p>
<p>視察の成果と久留米市へ期待される効果</p>	<p>以上の内容から是非とも久留米市におきましても、2～3年計画で市営住宅の指定管理について真剣に検討していただくように強く要望します。</p>

研修報告書

平成 31 年 3 月 8 日

会派名 緑水会議員団

代表者 田中 多門 殿

会派名 緑水会議員団

報告者 森崎巨樹



政務活動のため研修会に参加したので、その概要を報告いたします。

実施年月日	平成 30 年 11 月 14 日～15 日
視察地	栃木県宇都宮市
参加議員名	佐藤晶二、栗原伸夫、森崎巨樹 計 3 名
研修項目	全国市議会議長会研究フォーラム
当該研修への 参加動機・目的	全国の市区議会議員が一堂に会し、地方議会の機能強化を目指し、共通する課題や今後の議会の在り方について意見交換を行う為。
説明者	中央大学法学部教授宮本様 他
説明内容	<ul style="list-style-type: none">・基調講演「地域共生社会」をどうつくるか・パネルディスカッション議会と住民の関係について・課題討論議会と住民の関係について <p>各部において、中心となったのはこれから迎える少子高齢化による地方自治体に与える影響と議会への関心が薄れていく中いかにして住民の課題認識への理解と開かれた議会、住民が議会へ関心を持つてもらうかという内容であった。</p>
研修の成果	久留米市において抱えている議会と住民との関係性、開かれた議会への挑戦について全国どの自治体でも課題と認識し様々な取り組みを行っていた。特に、議題討論においては 4 市の代表者が登壇し課題とそれに対する事例報告を行ったが、今まで慣例化された議会のやり方では簡単には住民に身近な議会とはならないことが明らかになった。本市においても、今以上の斬新な施策を行わなければ住民に身近な議会、開かれた議会への道は当いものだと痛感し、今後の課題の認識として成果があったものと感じる。

視察報告書

平成31年3月8日

会派名 緑水会議員団

代表者 田中多門 様

会派名 緑水会議員団

報告者 田中多門



政治活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

実施年月日	平成31年1月16・17・18日
視察地	東京都大田区、東芝未来科学館(神奈川県川崎市)
参加議員名	田中多門・栗原伸夫・佐藤晶二・塙本篤行・森崎巨樹
視察項目	1. 大田区:本市でも問題になっている「空き家」に対する取り組み調査 2. 東芝未来科学館:東芝と本市の連携調査
視察の目的	1. 大田区:空家対策について(現状・課題、取組の概要、今後の展開) 2. 東芝未来科学館:からくり義衛門の市民への周知方法、行政との連携、久留米市との連携について
当該視察地を選定した理由	1. 大田区:早くから空き家対策と活用の実績を学び、本市に活かすため 2. 東芝の誇る「科学館」との連携と市民周知対策のため
説明者	1. 大田区まちづくり推進部建築調整課住宅担当 武田課長 2. 東芝未来科学館副館長「[REDACTED] 氏」
説明内容	1. 羽田空港を管内に持つ広大な都心地であり、高齢化と共に空き家が増加し、全国でも先駆けての取り組みや活用の実績を聞き「総合相談会」「対策計画」の運営等の実態の説明を受けた。 2. 田中久重に関する展示と、電化製品の発展過程のものづくりの説明、科学館と生涯教育の位置づけを聞いた。
視察の成果と久留米市への期待される効果	1. 活用マッチング事例は多く、保育室や子供の遊び場、グループホームやゲストハウス等多岐にわたっている。都市の予算規模や組織システムの違いはあるが、地方都市も危機感を持ち、早めの「対策を要することを実感。 2. 本市の誇る「田中久重」については、佐賀の小中生訪問が毎年なされている。本市も「からくり義衛門展」など東芝より多くの協力、応援を受けているが、市民に浸透しているとは言い難い。本市議員が訪問したのは、今回我々が初めての事で、平素よりの交流の重要性を実感した。